

電気系・高度ものづくり技能の追求と実践

～ウェブデザイン～

齊藤 竜之介

1. 目的

ウェブ技術を通してエンジニアとしての技術を高める。
技能五輪全国大会ウェブデザイン職種で金賞を受賞する。

2. 技能五輪全国大会 ウェブデザイン職種

ウェブ技術におけるウェブデザイン技能とは「ウェブ上のインターフェースや情報の整理・設計・構築を行いユーザーに最適な形で提供すること」である。ウェブデザイン職種競技では、競技課題に基づき、ウェブサイトの設計・構築に関わる技能について競技を行う。ここにおけるデザインとは、「目的をもって具体的に立案・設計すること」である。課題概要と競技時間を表1に示す。

表1. ウェブデザイン職種の課題概要及び競技時間

M1: スピードテスト (1時間) ウェブデザインに必要なとされる技能・作業の速さを競う。ウェブデザイン作業における各種の専門的な問題を時間内に完成させる。	M2: バックエンド (2.5時間) PHP (フレームワーク) とデータベースを使用して、バックエンド部分 (管理画面とRESTful API) の構築を行う。
M3: フロントエンド・インタラクティブ (2.5時間) 与えられる要件、テーマをもとにフロントエンドにおけるJavaScriptの基本技能を中心としたプログラムの実装を行う。	M4: マーケティングページ (2.5時間) 与えられる要件やサイトテーマをもとに、顧客の要求を理解し、ウェブサイトの設計・デザイン・構築作業を行う。

3. 技能五輪全国大会までの取り組み

年間スケジュールを表2に示す。5月に技能五輪の予選会があり、11月に技能五輪の全国大会がある。6月から11月まではGrowGroup株式会社の石原さんに8回の技術支援をしていただいた。五輪の勉強を通してLaravelやReactなど新たなウェブ技術を習得できた。

表2. 年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
大会		技能五輪全国大会予選 (18日)						技能五輪全国大会本選 (22~24日)
計画	・スピードテストに向けた練習 ・スピードテストの過去問網羅練習		・reactの技術向上 ・laravelの習得 ・全国大会の過去問練習					
内容	・フォトショップとphpの習得 ・html,css,jsの更なる技術向上	・growgroupによるオンライン講義による laravelの習得		・reactでのゲーム開発		・全国大会の過去問を解く ・growgroupによるアドバイスや フィードバック		・時間計測しながらの過去問練習 ・growgroupによるアドバイスや フィードバック

4. 結果

- 技能五輪全国大会予選突破 (第19回ウェブデザイン技能競技会)
競技内容は90分間で全15問のスピードテストであった。その結果、フォトショップに関する問題については全て解答することができ、さらにHTML、CSS、JavaScript、PHPの問題についても半数以上を制限時間内に解答することができた。
- 第62回技能五輪全国大会本選 敢闘賞受賞
競技内容は表1に示す内容である。各モジュール (M1~M4) の結果は以下の通りである。
 - ・M1: 時間を要する問題が多く、解答できた問題数は限られた。
 - ・M2: 過去問題を繰り返し練習した成果が現れ、API以外のすべての問題を完成させることができた。
 - ・M3: 与えられた課題が予想と異なり苦戦したが、最終的には形にすることができた。
 - ・M4: 時間不足により完全な解答には至らなかったが、与えられた要件の多くを満たすように作成することができた。

5. 考察と感想

今年は敢闘賞を受賞することができたが、目標としていた金賞には及ばなかった。これは、初めて全国大会に出場したこともあり、戸惑う部分が多かったことが一因であると考えている。さらに、問題は世界大会を見据えたものとなっており、昨年度よりも制限時間が短縮されたことも一層の難易度をもたらした。来年に向けては、今年の実験を踏まえ、対策と練習、加えて他のアプリケーションの作成を通じて技術を一層向上させ、今度こそ金賞の受賞を目指す。直近の目標としては、就職活動が活発化している現状を踏まえ、ポートフォリオサイトの作成とする。これにより、更なる技術向上を目指し、来年の金賞に向けた第一歩としたい。